

ロボット技術を活用した 介護における労働生産性の向上

～超高齢社会およびその後の社会の発展に向けて～

慶應義塾大学大学院 理工学研究科 博士課程
安部 義隆

概要

- 超成熟社会における超高齢化は労働力不足をもたらし、特に介護の分野で深刻となりうる
 - ・ 2040年までに1.5倍の介護職員の労働生産性の向上が必要である
- ロボットをはじめとする**技術の導入による介護の労働生産性の革新的向上の推進**を提言する
 - ・ 民間からの投資制度、技術導入を促進する制度の統合システムを提案する

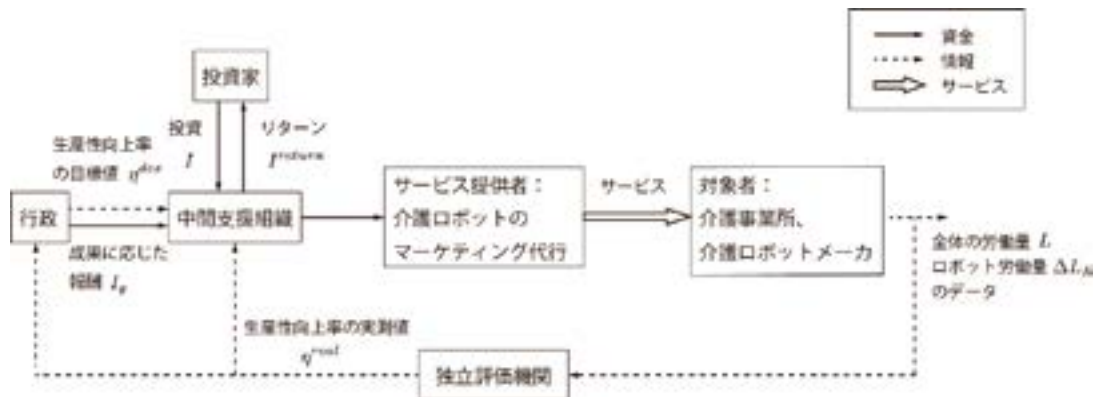
実現すべきビジョン

- **労働生産性の向上により、少ない労働人口においても介護者・被介護者の高いQoLを実現する**
- 解となる介護技術およびそのサービスを早期に確立するため、更なる普及促進が必要である

提言の具体的内容

資金調達・技術導入促進の統合設計

- ソーシャルインパクトボンドによる民間投資制度



提言先

- 経済産業省 製造産業局 産業機械課